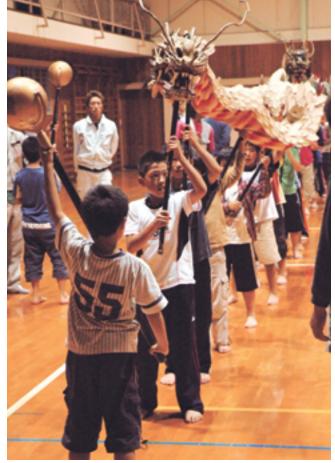
能

保存会の活動にスポットを当て、その活動の中から郷土芸能を探ります。る「第45回献血運動推進全国大会」で約2千人の観衆の前で演舞する御厨蛇踊り御厨蛇踊り保存会もその一つ。今月号では、7月16日にアルカス佐世保で行われ市内には、郷土芸能を守り、受け継いでいこうと活動をしている人々がいます。

受け継いでいこうと活動をしている人々がいます。

# 特集







# 土芸能 郷 特集

として市内外で活躍しています。 りで演舞するなど、いまや郷土芸能として、御厨町だけでなく松浦市の顔 御厨蛇踊り保存会の活動は、 御厨宮日の奉納・演舞をはじめ、 松浦水軍ま



昭和37年8月、初披露となった御厨盆行事(写真提供:御厨蛇踊り保存会)



# 保存会の

成

ľ

それまで囃子にだけ参加して

昭和5年には初代「子青蛇」

が完

在のかたち

いた御厨小学校の児童たちが担ぎ手

き、この盆祭りも昭和33年で終わる ことで、祭りは年々寂しくなってい あったご神体の出開帳がなくなった れていました。しかし祭りの主役で 厨では、 ほどで途絶えましたが、その後も御 われていました。この出開帳は3年 体のお披露目に出向く「出開帳」 と佐賀県鹿島市の祐徳稲荷神社がご神 ことになります。 昭和25年ごろ、 出開帳という盆祭りが行わ 御厨ではお盆になる が行

> がら御厨独自の蛇踊りに仕上げられ 戸や長崎に見学に行き、参考にしな また、同保存会のメンバーなどが平 としても参加するようになりました。

ていきました。

とでした。 別したいという思いから、「龍」を 御厨駅通地区の若者が集まりました。 御厨なので長崎の そこで決まったのが「龍踊り」。しか きく作りました。昭和36年8月のこ 「蛇」にし、 し祐徳稲荷神社が出開帳をしていた そこで御厨に活気を取り戻そうと 蛇の大きさも長崎より大 「龍踊り」とは区

り保存会を発足し、 小学校区の人を会員とした御厨蛇踊 けでは人員確保が困難となり、 として継承することになりました。 で活動をしていましたが、 御厨蛇踊りは当時、 御厨町の蛇踊り 駅通地区だけ 1地区だ 御厨

> 届きました。7月16日に佐世保市 国大会実行委員会から1通の手紙 郎さんの元に第45回献血運動推進 出演依頼でした。 アルカスSASEBOで行われる 第45回献血運動推進全国大会」への 5月中 旬、

が訪れたのです。 浦市を全国にアピールするチャンス のではないでしょうか」と武辺さん。 00周年記念行事に参加するなどの で演舞し、 全国から約2千人が集まるイベント 今までの実績が認められ、 「御厨蛇踊り保存会が日蘭交流 御厨蛇踊りだけでなく松 選ばれた

ています。 は6月から始め、 て9月から始めている練習を、 したい。 やるからには最高の蛇踊りを披 毎年地元の御厨宮日に向 練習にも熱が入っ 今年 け

# 大舞台

同保存会会長武辺健 0) が 全